

## 資料編

### ○アンケート調査票

研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート

【A 研究関連独立行政法人対象】

研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート

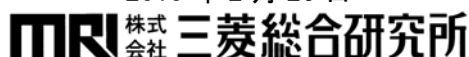
【B 民間企業対象】

研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート

【C 大学対象】

# 研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート【A 研究関連独立行政法人対象】

2010年2月26日



## 《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省の委託により、研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケートを行うことになりました。

この調査票は、研究関連独立行政法人を対象にお送りしております。近年、研究開発の「プログラム」化が進んでおり、その評価も行われているようになってきたものの、評価体系・評価手法は十分確立されていないと考えられます。そこで、本調査分析では、このような研究開発プログラムの構成の考え方について実態を把握するとともに、その評価体系・評価手法に関する実態と課題を把握し、今後の改善に役立てることを目的としています。

## 《アンケートの回答方法》

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も **3月12日(金)**までに回答ください。

### 【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

### 【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/rd4/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、[rd4@mri.co.jp](mailto:rd4@mri.co.jp)まで返信ください。

### 【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票をFAXして頂いてもかまいません。

## 《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。分析でも組織・個人を特定して扱うことはございませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとも次第、調査結果をフィードバックいたします。

## 《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 経営コンサルティング本部 担当：北田貴義、吉村哲哉

お問い合わせ用メールアドレス [rd4@mri.co.jp](mailto:rd4@mri.co.jp)

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQなど) <http://www.stu-mri.jp/rd4/>

電話 (03) 3277-0557

## ご記入された方の連絡先をご記入ください

### 【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、次ページ「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバックのみに利用します。

### ＜ご記入欄＞

法人名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

## 個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省より業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するものです。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003年1月8日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック
3. ご回答者の個人情報の提供  提供：事業者が自ら保有する個人情報を自社以外の者が利用できるようにすることをいう。(委託を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託  委託：事業者が利用目的達成に必要な範囲内において、個人情報の取扱いの全部又は一部を自社以外の者に預けることをいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者に個人情報を取扱う業務を委託する予定があります。 その際、必要な契約を締結し、弊社の従業員に対するのと同等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社に与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合にご回答者に生じる結果について	・お名前・ご連絡先をご記入いただいた場合、後日、アンケート回答内容について、ご質問させていただく場合がございます。 ・お名前・ご連絡先を記入いただいた方には、アンケートの集計結果についてお知らせする場合があります。 ・ご回答された方が、個人名の記載を希望されない場合には、個人名の部分につきまして空欄でも構いません。その場合、アンケートの集計結果についてお知らせすることはできません。
7. 個人情報に関するご連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 広報・IR部 広報室 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: <a href="http://www.mri.co.jp/kojin/">http://www.mri.co.jp/kojin/</a>

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は <http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。

又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P020982-003-c

## はじめに：研究開発プログラムの定義

本アンケートにおける「プログラム」の定義については、下記文書に準拠することとし、必ずしも、「プログラム」という用語が用いられている場合に限定しません(例えば、文部科学省の「再生医療の実現化プロジェクト」もプログラムとして扱います)。

また、いわゆる制度とプログラムを区別せず、「制度」も含めて、「プログラム」として扱ってください。

### 文部科学省部会における「プログラム」についての記述

- 政策から具体的な研究実施までの政策体系は概して、「政策」－「施策」－「プログラム・制度(事務事業)」－「研究開発課題・プロジェクト」に分けられる。
- 階層の定義は、以下の通り。
  - 「政策」:特定の行政課題に対応するための基本的な方針の実現を目的とする行政活動の大きなまとまり。
  - 「施策」:上記の「基本的な方針」に基づく具体的な方針の実現を目的とする行政活動のまとまりであり、「政策(狭義)」を実現するための具体的な方策や対策ととらえられるもの。
  - 「プログラム・制度」:上記の「具体的な方策や対策」を具現化するための個々の行政手段としての事務及び事業であり、行政活動の基礎的な単位となるもの。
    - 国や資金配分機関において実施される提案型研究開発公募事業などの研究開発事業、競争的資金による研究開発制度が相当する(大規模なプロジェクトであり、資金配分や運営の意思決定が単独のプロセスで行われるものはここに含まれる。)。
    - 特に、科学技術政策においては、プログラムや制度は、社会、経済、国際政治、環境、文化などの様々な政策的課題(学術政策の課題も含む)と、最先端の研究動向とを結びつけるインターフェイスの役割を担う点に重要性がある。
    - その評価は、プログラム・制度の設定、研究開発の質の向上や運営改善、計画の見直し等を図るとともに、評価の重複を避け、評価を効率的に実施するためにも極めて重要である。
  - 「研究開発課題・プロジェクト」:プログラム・制度の中で選定・設定されて実施される個別の研究開発事業、課題。

#### (例)【文部科学省の政策評価における階層構造の例】

文部科学省事業評価－平成21年度新規・拡充等－

政策目標9 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備

施策目標9－1 学術研究の振興

事業 ・科学研究費補助金

・政策や社会の要請に対応した人文・社会科学研究推進事業－近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業－

政策目標10 科学技術の戦略的重点化

施策目標10－1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進

事業 ・脳科学研究戦略推進プログラム

・革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアチブ

・再生医療の実現化プロジェクト

・橋渡し研究支援推進プログラム

出典:科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会研究評価部会「研究開発評価システム改革の方向性について(審議のまとめ)」平成21年8月4日 より抜粋

## 本アンケートに関する補足説明

### ①本アンケートは、研究開発型独立行政法人を対象としてお送りしております。

本アンケートでは、

- a. 外部への研究資金の配分業務(ファンディングエージェンシー業務)
- b. 貴法人内部での研究開発業務

のそれぞれについて、「プログラム」という観点から質問を行います。

貴法人において、a. とb. の両方の業務を行っている場合には、両方についてご回答ください。片方のみ実施している場合には、片方だけの回答をお願いします。

### ②外部への研究資金の配分業務(ファンディングエージェンシー業務)

「プログラム」には、階層性があると考えています。比較的大きな資金規模のプログラムの場合には、2層構造になっていると考えられます。「プログラム」は、このうち事業全体ないし中間階層と見ることができると考えられます。

#### 外部への研究資金の配分の場合の「プログラム」の階層性

<p>a. 中間階層のある(2層構造ないし3層構造の)プログラム</p> <p>(仕組み)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業全体と、個々の課題との間にもう一つか二つ、階層があるもの。</li></ul> <p><u>事業全体:</u> <u>中間階層:</u>評価委員会等の評価を経て、「領域」「拠点」「地域」等を選定 <u>個別課題:</u>「研究総括」等のリーダーシップのもと、個別の研究課題、研究者を選定</p> <p>(該当事業例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・JST・戦略的想像研究推進事業／CREST(チーム型)・さきがけ(個人型)・ERATO 等 →トップダウン型で研究領域を選定 &amp; 各領域の研究総括が個別の課題、研究者を選定、評価</li><li>・文部科学省・知的クラスター創成事業 →地域からの提案の基づき、実施地域を選定、評価 &amp; 各地域の事業総括・研究統括のレベルで個別の課題を選定、評価</li><li>・JSPS・グローバル COE プログラム →各拠点からの提案に基づき、実施拠点を選定、評価 &amp; 各拠点において個別の課題を実施、評価</li></ul>
<p>b. 中間階層のない1層構造のプログラム</p> <p>(仕組み)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当該事業において、中間階層を設けることなく、個々の研究課題を選定・実施するもの。</li></ul> <p><u>事業全体:</u> <u>個別課題:</u>事業の趣旨に沿って、個別課題を選定、評価</p> <p>(該当事業例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文部科学省・再生医療の実現化プロジェクト →PD、PO のリーダーシップのもと、個別の課題を評価・選定、管理</li></ul>

### ③貴法人内部での研究開発業務(研究所における「プログラム」)

研究機関においては、プロジェクト(課題)の上位概念として「プログラム」という呼称を用いるかどうかについては、各機関の研究開発課題の管理の方法によって異なります。このため、本アンケートでは、プロジェクトや研究課題の上位概念あるいは大分類・中分類的なものを「プログラム」とみなし、それについて伺います。

表. 研究課題の例(中身は実際のものではない)

大分類	中分類	研究課題(プロジェクトを含む)
1. 新時代のエネルギーとCO <sub>2</sub> 削減への対応	新エネルギーの開発	・バイオマス発電の開発
		・燃料電池車の開発
		・水素生成技術の開発
	省エネルギーへの対応	・太陽光発電の高効率化
		・高効率ガスタービンの開発
	CO <sub>2</sub> 回収方法の研究	・CO <sub>2</sub> 有効利用のための改質方法の研究 ・海水のCO <sub>2</sub> 吸収能力に関する研究
2. 高齢化社会への対応	移動手段の利便性向上に向けた開発	・高機能車椅子の開発
		・自動車における高齢者向けの運転機能向上に向けた研究
	建物内での利便性向上に向けた開発	・自動調理器の開発
		・家庭用電気機器遠隔操作システムの開発 ・障害者向け介護ロボットの開発
3. 環境保全への対応	大気汚染対策	・高性能NO <sub>x</sub> 処理装置の開発
		・自動車用高性能フィルターの開発
	土壌汚染対策	・バイオ処理に関する研究
		・効率的原位置浄化方法の開発

出典:小沼良直氏(本調査の検討委員)作成

本アンケートでは、個々の研究課題ではなく、それらを大きくくりにした大分類・中分類をここでは「研究開発プログラム」と呼び、それについておたずねします。

大分類、中分類、研究課題と分かれている場合は中分類、大分類と研究課題と分かれている場合は大分類用に、個別研究課題の1つ上のレベルについて回答して下さい。

「研究開発プログラム」は、研究開発部局の、研究グループや研究所など部署の構成に一致している場合もあれば、そうでない場合(部局横断的な編成)もあると思われます。

[ I ファンディングエージェンシー業務におけるプログラムについて]

問0-1 貴法人では、ファンディングエージェンシー(競争的研究資金などの形で、提案公募等により研究資金を提供)業務を行っていますか。

- |                    |
|--------------------|
| 1. 行っている           |
| 2. 行っていない → IIの間1へ |

問0-2 ファンディングエージェンシー業務を行っている場合、どのような制度・プログラムを運営していますか。実施している研究開発プログラムの名称と所管部署について、5つまで回答ください。

	制度・プログラム名称	所管部署
A		
B		
C		

次の問以降は、該当するプログラムの一つ一つについて、ご回答ください。  
(必要に応じて、プログラム所管部署に回覧の上、ご回答ください)

【制度・プログラムについては、下記の事業を対象にご回答ください】

【また、他に該当する事業があれば、1機関について3つまで追加してください】

独立行政法人情報通信研究機構	新たな通信・放送事業分野開拓のための先進的技術開発支援
	民間基盤技術研究促進制度
独立行政法人日本学術振興会	科学研究費補助金
独立行政法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業(「社会技術研究開発事業」を含む)
	先端計測分析技術・機器開発事業
	独創的シーズ展開事業
独立行政法人医薬基盤研究所	保健医療分野における基礎研究推進事業
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構	イノベーション創出基礎的研究推進事業
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	産業技術研究助成事業
	大学発事業創出実用化研究開発事業
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	石油・天然ガス開発・利用促進型事業
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	エネルギー使用合理化技術戦略的開発
	エコイノベーション推進・革新的温暖化対策技術発掘プログラム
独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	運輸分野における基礎的研究推進制度

【A】

制度・プログラム名	
-----------	--

A-1 この制度・プログラムの構造は何階層で構築されていますか。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1階層である(本事業(制度)において、直接、個別課題を選定)</li> <li>2. 2階層である(領域、拠点、地域等を選定した上で、その中で個別課題を選定)</li> <li>3. 3階層である</li> <li>4. その他</li> </ol> |
|---|

A-2 この制度・プログラムにおいて、1層の場合は事業全体、2-3階層の場合は最下位階層において、含まれる研究課題(課題)数はいくつ程度ですか。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1~3 研究課題</li> <li>2. 4~10 研究課題</li> <li>3. 11~30 研究課題</li> <li>4. 31~100 研究課題</li> <li>5. 101~300 研究課題</li> <li>6. 301~1000 研究課題</li> <li>7. 1001 研究課題以上</li> </ol> |
|---|

A-3 本制度・プログラムの運営や評価に関して、それぞれの主体は、實際上、どのような役割を担っていますか。該当する番号に○をつけてください。

	所管官庁	独法(職員)	PD(注)	PO(注)	プログラムの下位階層の代表者	個別課題を担う研究者
1. 本制度・プログラム全体のコンセプト設計(制度の目的、事業スキーム等)	11	12	13	14	15	16
2. 本制度・プログラムで対象とする研究分野の設定	21	22	23	24	25	26
3. 本制度・プログラムが資金配分する先の研究領域、研究拠点、地域等(中間階層)の決定	31	32	33	34	35	36
4. 個別の研究課題の選定	41	42	43	44	45	46
5. 個別の研究課題の進捗管理	51	52	53	54	55	56
6. 本制度・プログラム全体の評価(事務局業務等)	61	62	63	64	65	66
7. 本制度・プログラムの中間階層(特定の領域、拠点等)での評価(事務局業務等)	71	72	73	74	75	76
8. 個別課題の評価(事務局業務等)	81	82	83	84	85	86
9. その他( )	91	92	93	94	95	96

注:PD=プログラムディレクター  
PO=プログラムオフィサー



A-4 次のうち評価を実施しているものの番号に○を付けてください。

	外部評価 (外部評価委員会を設けて 評価している場合)				内部評価 (事業全体や中間階層の総 括等による評価の場合)			
	事前	中間	事後	追跡	事前	中間	事後	追跡
1. 個別課題(研究テーマ)に関する評価	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 制度・プログラム全体に関する評価 (個別課題の評価の総和ではなく、 事業全体としての進捗やマネジメン トや成果等について評価するもの)	9	10	11	12	13	14	15	16
【複数階層の制度・プログラムの場合】 3. 中間階層に関する評価(領域評 価、プログラム評価、拠点評価等の 形で、中間階層について評価して いるもの)	17	18	19	20	21	22	23	24

A-5 上記設問で、事業全体ないし中間階層に関する評価(個別課題の評価とは別に)を行っている場合について伺います。そうした評価を行う目的は何でしょうか。(自由回答)

A-6 本制度・プログラムの設計に当たっては、誰のどのような情報を元に行いましたか。(自由回答)

A-7 「プログラム」として研究を実施することによる効果について、あてはまるものに○を付けてください。また、そのように回答した理由について、ご回答ください。

1. 研究開発以外の政策(制度設計等)との連携が円滑化する
2. 研究開発としての目標体系が明確に意識される
3. 当該分野に知見を持つ者が、プロジェクトの進捗管理や評価を適切に行える
4. プログラムの目標に即して、必要なプロジェクトを過不足なく設定できる
5. プログラムの範囲の中で、予算配分の増減が容易となる
6. 複数のプロジェクトが並行して走る中でも不足する技術的要素が明確となる
7. その他(具体的に:

そのように回答した理由、具体的な効果についてご回答ください(自由回答)

A-8 制度・プログラム評価を実施する上での課題、問題点があれば、ご記入ください。

**【B】**

制度・プログラム名	
-----------	--

**B-1 この制度・プログラムの階層構造は次のどれに当たりますか。**

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1階層である(本事業(制度)において、直接、個別課題を選定)</li> <li>2. 2階層である(領域、拠点、地域等を選定した上で、その中で個別課題を選定)</li> <li>3. 3階層である</li> <li>4. その他</li> </ol> |
|---|

**B-2 この制度・プログラムにおいて、1層の場合は事業全体、2-3階層の場合は最下位階層において、含まれる研究課題(課題)数はいくつ程度ですか。**

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1~3 研究課題</li> <li>2. 4~10 研究課題</li> <li>3. 11~30 研究課題</li> <li>4. 31~100 研究課題</li> <li>5. 101~300 研究課題</li> <li>6. 301~1000 研究課題</li> <li>7. 1001 研究課題以上</li> </ol> |
|---|

**B-3 本制度・プログラムの運営や評価に関して、それぞれの主体は、實際上、どのような役割を担っていますか。該当する番号に○をつけてください。**

	所管官庁	独法(職員)	PD(注)	PO(注)	プログラムの下位階層の代表者	個別課題を担う研究者
1. 本制度・プログラム全体のコンセプト設計(制度の目的、事業スキーム等)	11	12	13	14	15	16
2. 本制度・プログラムで対象とする研究分野の設定	21	22	23	24	25	26
3. 本制度・プログラムが資金配分する先の研究領域、研究拠点、地域等(中間階層)の決定	31	32	33	34	35	36
4. 個別の研究課題の選定	41	42	43	44	45	46
5. 個別の研究課題の進捗管理	51	52	53	54	55	56
6. 本制度・プログラム全体の評価(事務局業務等)	61	62	63	64	65	66
7. 本制度・プログラムの中間階層(特定の領域、拠点等)での評価(事務局業務等)	71	72	73	74	75	76
8. 個別課題の評価(事務局業務等)	81	82	83	84	85	86
9. その他( )	91	92	93	94	95	96

注:PD=プログラムディレクター  
PO=プログラムオフィサー

B-4 次のうち評価を実施しているものの番号に○を付けてください。

	外部評価 (外部評価委員会を設けて 評価している場合)				内部評価 (事業全体や中間階層の総 括等による評価の場合)			
	事前	中間	事後	追跡	事前	中間	事後	追跡
1. 個別課題(研究テーマ)に関する評価	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 制度・プログラム全体に関する評価 (個別課題の評価の総和ではなく、 事業全体としての進捗やマネジメン トや成果等について評価するもの)	9	10	11	12	13	14	15	16
【複数階層の制度・プログラムの場合】 3. 中間階層に関する評価(領域評 価、プログラム評価、拠点評価等の 形で、中間階層について評価して いるもの)	17	18	19	20	21	22	23	24

B-5 上記設問で、事業全体ないし中間階層に関する評価(個別課題の評価とは別に)を行っている場合について伺います。そうした評価を行う目的は何でしょうか。(自由回答)

B-6 本制度・プログラムの設計に当たっては、誰のどのような情報を元に行いましたか。(自由回答)

B-7 「プログラム」として研究を実施することによる効果について、あてはまるものに○を付けてください。また、そのように回答した理由について、ご回答ください。

1. 研究開発以外の政策(制度設計等)との連携が円滑化する
  2. 研究開発としての目標体系が明確に意識される
  3. 当該分野に知見を持つ者が、プロジェクトの進捗管理や評価を適切に行える
  4. プログラムの目標に即して、必要なプロジェクトを過不足なく設定できる
  5. プログラムの範囲の中で、予算配分の増減が容易となる
  6. 複数のプロジェクトが並行して走る中でも不足する技術的要素が明確となる
  7. その他(具体的に:

そのように回答した理由、具体的な効果についてご回答ください(自由回答)

B-8 制度・プログラム評価を実施する上での課題、問題点があれば、ご記入ください。

【C】

制度・プログラム名	
-----------	--

C-1 この制度・プログラムの階層構造は次のどれに当たりますか。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1階層である(本事業(制度)において、直接、個別課題を選定)</li> <li>2. 2階層である(領域、拠点、地域等を選定した上で、その中で個別課題を選定)</li> <li>3. 3階層である</li> <li>4. その他</li> </ol> |
|---|

C-2 この制度・プログラムにおいて、1層の場合は事業全体、2-3階層の場合は最下位階層において、含まれる研究課題(課題)数はいくつ程度ですか。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1~3 研究課題</li> <li>2. 4~10 研究課題</li> <li>3. 11~30 研究課題</li> <li>4. 31~100 研究課題</li> <li>5. 101~300 研究課題</li> <li>6. 301~1000 研究課題</li> <li>7. 1001 研究課題以上</li> </ol> |
|---|

C-3 本制度・プログラムの運営や評価に関して、それぞれの主体は、實際上、どのような役割を担っていますか。該当する番号に○をつけてください。

	所管官庁	独法(職員)	PD(注)	PO(注)	プログラムの下位階層の代表者	個別課題を担う研究者
1. 本制度・プログラム全体のコンセプト設計(制度の目的、事業スキーム等)	11	12	13	14	15	16
2. 本制度・プログラムで対象とする研究分野の設定	21	22	23	24	25	26
3. 本制度・プログラムが資金配分する先の研究領域、研究拠点、地域等(中間階層)の決定	31	32	33	34	35	36
4. 個別の研究課題の選定	41	42	43	44	45	46
5. 個別の研究課題の進捗管理	51	52	53	54	55	56
6. 本制度・プログラム全体の評価(事務局業務等)	61	62	63	64	65	66
7. 本制度・プログラムの中間階層(特定の領域、拠点等)での評価(事務局業務等)	71	72	73	74	75	76
8. 個別課題の評価(事務局業務等)	81	82	83	84	85	86
9. その他( )	91	92	93	94	95	96

注:PD=プログラムディレクター  
PO=プログラムオフィサー

C-4 次のうち評価を実施しているものの番号に○を付けてください。

	外部評価 (外部評価委員会を設けて 評価している場合)				内部評価 (事業全体や中間階層の総 括等による評価の場合)			
	事前	中間	事後	追跡	事前	中間	事後	追跡
1. 個別課題(研究テーマ)に関する評価	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 制度・プログラム全体に関する評価 (個別課題の評価の総和ではなく、 事業全体としての進捗やマネジメン トや成果等について評価するもの)	9	10	11	12	13	14	15	16
【複数階層の制度・プログラムの場合】 3. 中間階層に関する評価(領域評 価、プログラム評価、拠点評価等の 形で、中間階層について評価して いるもの)	17	18	19	20	21	22	23	24

C-5 上記設問で、事業全体ないし中間階層に関する評価(個別課題の評価とは別に)を行っている場合について伺います。そうした評価を行う目的は何でしょうか。(自由回答)

C-6 本制度・プログラムの設計に当たっては、誰のどのような情報を元に行いましたか。(自由回答)

C-7 「プログラム」として研究を実施することによる効果について、あてはまるものに○を付けてください。また、そのように回答した理由について、ご回答ください。

1. 研究開発以外の政策(制度設計等)との連携が円滑化する
  2. 研究開発としての目標体系が明確に意識される
  3. 当該分野に知見を持つ者が、プロジェクトの進捗管理や評価を適切に行える
  4. プログラムの目標に即して、必要なプロジェクトを過不足なく設定できる
  5. プログラムの範囲の中で、予算配分の増減が容易となる
  6. 複数のプロジェクトが並行して走る中でも不足する技術的要素が明確となる
  7. その他(具体的に:

そのように回答した理由、具体的な効果についてご回答ください(自由回答)

C-8 制度・プログラム評価を実施する上での課題、問題点があれば、ご記入ください。

## [Ⅱ 研究開発(研究所)業務におけるプログラムについて]

### 問1 研究開発プログラムと個別研究課題の関係について

問1-1 研究開発プログラムと個別の研究課題はどのような関係で設定されていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 個別の研究課題を目的別にくくって研究開発プログラムを設定し、全社の研究開発目標と結びつけていく(ボトムアップ) →問2を回答して問4へ
2. 全社の研究開発目標をブレークダウンして研究開発プログラムを設定し、そこから個別の研究課題が設定される(トップダウン) →問3を回答して問4へ
3. 上記ボトムアップとトップダウンの両方の場合がある →問2、問3を回答して問4へ

### 問2 ボトムアップの研究開発プログラムについて

研究課題からのボトムアップで研究開発プログラムを設定している場合についておたずねします。

問2-1 1つの研究開発プログラムに含まれる研究課題はいくつ程度ですか。

1. 1～5 研究課題
2. 6～10 研究課題
3. 11～20 研究課題
4. 21～30 研究課題
5. 31～40 研究課題
6. 41 研究課題以上

問2-2 研究開発の性格は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 基礎研究(純粋基礎研究):基本的な原理や性質を知るためのもの
2. 基礎研究(目的基礎研究):特定の実際目的のために行われるもの
3. 応用研究
4. 開発研究

問2-3 研究開発プログラムはどのような組織単位に対応していますか。

1. 研究者が所属する研究グループ、それが属する研究所など部署の構成に対応している
2. 研究者が所属する部署の構成には対応しておらず、それらを超えた横断的なものになっている
3. 上記の両方がある

問2-4 (問2-3で2.、3.と回答した場合)研究開発プログラムについての管理者(リーダー)は設定されていますか。

1. 原則として設定されている
2. 原則として設定されていない
3. どちらの場合もある

問2-5 管理者(リーダー)の権限・役割はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の設定・変更・中止
2. 研究開発プログラムに含まれる研究課題間の予算配分
3. 研究開発プログラムに含まれる研究課題間の研究者配置
4. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の評価
5. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の進捗管理
6. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

問2-6 個別の研究課題と研究開発プログラム全体の目標とを関連づけるためにどのような工夫をしていますか。

例) 研究課題群が全体として、目的に合った形で進んでいるかチェック、研究課題群全体として、抜け漏れや、不必要な重複がないかのチェック、研究課題間での相互連携の促進 など

問2-7 個別の研究課題と研究開発プログラム全体の目標とを関連づけるためにどのような課題、問題点がありますか。

例) 個別研究課題との関連づけが難しい、等

問2-8 個別の研究課題の評価と研究開発プログラムの評価の関係はどのようになっていますか。

1. 個別の研究課題の評価のみを実施している →問 2-9、問 2-10は回答不要です
2. 研究開発プログラムの評価のみを実施している
3. 個別の研究課題の評価を実施し、それをあわせたものが研究開発プログラムの評価となる
4. 個別の研究課題の評価を実施し、それを参考にさらに違う視点からの評価も加えたものが研究開発プログラムの評価となる(以下に具体的に)

違う視点を具体的に

問2-9 研究開発プログラムの評価の周期はどのようになっていますか。

複数の形式の評価を行っている場合は、もっとも頻繁に行われているものについて回答して下さい。

1. 1年より短い(半年など)
2. 毎年
3. 2～3年おき
4. 4～5年おき
5. 6年以上おき
6. 不定期

問2-10 研究開発プログラムレベルで評価を実施する理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 個々の研究課題の評価だけでは判断できない全体的な研究開発目標の達成状況を評価できる
2. 個々の研究課題の評価は細かすぎて事務的に煩雑である
3. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

### 問3 トップダウンの研究開発プログラムについて

研究開発プログラムからのトップダウンで研究課題を設定している場合についておたずねします。

問3-1 1つの研究開発プログラムに含まれる研究課題はいくつ程度ですか。

1. 1～5 研究課題
2. 6～10 研究課題
3. 11～20 研究課題
4. 21～30 研究課題
5. 31～40 研究課題
6. 41 研究課題以上

問3-2 研究開発の性格は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 基礎研究(純粋基礎研究): 基本的な原理や性質を知るためのもの
2. 基礎研究(目的基礎研究): 特定の実目的のために行われるもの
3. 応用研究
4. 開発研究

問3-3 研究開発プログラムはどのような組織単位に対応していますか。

1. 研究者が所属する研究グループ、それが属する研究所など部署の構成に対応している
2. 研究者が所属する部署の構成には対応しておらず、それらを超えた横断的なものになっている
3. 上記の両方がある

問3-4 (問 2-3で 2.、3.と回答した場合) 研究開発プログラムについての管理者(リーダー)は設定さ



れていますか。

1. 原則として設定されている
2. 原則として設定されていない
3. どちらの場合もある

問3-5 管理者(リーダー)の権限・役割はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の設定・変更・中止
2. 研究開発プログラムに含まれる研究課題間の予算配分
3. 研究開発プログラムに含まれる研究課題間の研究者配置
4. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の評価
5. 研究開発プログラムに含まれる研究課題の進捗管理
6. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

問3-6 個別の研究課題と研究開発プログラム全体の目標とを関連づけるためにどのような工夫をしていますか。

例) 研究課題群が全体として、目的に合った形で進んでいるかチェック、研究課題群全体として、抜け漏れや、不必要な重複がないかのチェック、研究課題間での相互連携の促進 など

問3-7 個別の研究課題と研究開発プログラム全体の目標とを関連づけるためにどのような課題、問題点がありますか。

例) 個別研究課題との関連づけが難しい、等

問3-8 個別の研究課題の評価と研究開発プログラムの評価の関係はどのようになっていますか。

1. 個別の研究課題の評価のみを実施している →問 3-9、問 3-10は回答不要です
2. 研究開発プログラムの評価のみを実施している
3. 個別の研究課題の評価を実施し、それをあわせたものが研究開発プログラムの評価となる
4. 個別の研究課題の評価を実施し、それを参考にさらに違う視点からの評価も加えたものが研究開発プログラムの評価となる(以下に具体的に)

違う視点を具体的に

--

問3-9 研究開発プログラムの評価の周期はどのようになっていますか。

複数の形式の評価を行っている場合は、もっとも頻繁に行われているものについて回答して下さい。

1. 1年より短い(半年など)
2. 毎年
3. 2～3年おき
4. 4～5年おき
5. 6年以上おき
6. 不定期

問3-10 研究開発プログラムレベルで評価を実施する理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 個々の研究課題の評価だけでは判断できない全体的な研究開発目標の達成状況进行评估できる
2. 個々の研究課題の評価は細かすぎて事務的に煩雑である
3. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

--

問4 研究開発プログラムの評価全般について

問4-1 研究開発プログラムの評価を実施する上での工夫があれば、ご記入ください。

問4-2 研究開発プログラムの評価を実施する上での課題、問題点があれば、ご記入ください。  
例) 負担に見合った成果が得られない、等

ご協力大変ありがとうございました。

# 研究開発プログラムの構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート【B 民間企業対象】

2010年2月26日

**MRI** 株式会社 三菱総合研究所

## 《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省の委託により、「研究開発プログラム」の構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケートを行うことになりました。

このアンケートは、(A) 研究関連独立行政法人、(B) 民間企業、(C) 大学を対象にお送りしており、本アンケート票(B)は民間企業にお送りしているものです。

近年、政府の研究開発については複数のプロジェクトをまとめて管理する「プログラム」化が進んでおり、その評価も行われているようになってはいますが、評価体系・評価手法は十分確立されていないと考えられます。そこで、本調査分析では、民間企業における研究開発プログラムのマネジメントの実態を把握し、政府の研究開発のための参考にしたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

## 《アンケートの回答方法》

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も **3月10日(金)**までに回答ください。(回答所用時間は15分程度と思われます)

### 【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

### 【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/rd4/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、rd4@mri.co.jpまで返信ください。

### 【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票をFAXして頂いてもかまいません。

## 《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。分析でも組織・個人を特定して扱うことはございませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとめ次第、調査結果をフィードバックいたします。

## 《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 経営コンサルティング本部 担当：北田貴義、吉村哲哉

お問い合わせ用メールアドレス rd4@mri.co.jp

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQなど) <http://www.stu-mri.jp/rd4/>

電話 (03)3277-0557

## ご記入された方の連絡先をご記入ください

### 【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、次ページ「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバックのみに利用します。

### ＜ご記入欄＞

企業名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

## 個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省よりの業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するもので、研究開発費が多い民間企業 100 社にお送りしています。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003 年 1 月 8 日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック
3. ご回答者の個人情報の提供  提供：事業者が自ら保有する個人情報を自社以外の者が利用できるようにすることをいう。(委託を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託  委託：事業者が利用目的達成に必要な範囲内において、個人情報の取扱いの全部又は一部を自社以外の者に預けることをいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者に個人情報を取扱う業務を委託する予定があります。 その際、必要な契約を締結し、弊社の従業員に対するのと同等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社に与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合にご回答者に生じる結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お名前・ご連絡先をご記入いただいた場合、後日、アンケート回答内容について、ご質問させていただくことがございます。</li> <li>・お名前・ご連絡先を記入いただいた方には、アンケートの集計結果についてお知らせする場合があります。</li> <li>・ご回答された方が、個人名の記載を希望されない場合には、個人名の部分につきまして空欄でも構いません。その場合、アンケートの集計結果についてお知らせすることはできません。</li> </ul>
7. 個人情報に関するご連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 広報・IR 部 広報室 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: https://secure.mri.co.jp/MRI/kojin

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は <http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。  
又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P020982-004-c

## はじめに：本アンケートの「研究開発プログラム」の定義

民間企業においては、プロジェクト(課題)の上位概念として「プログラム」という呼称を用いるかどうかについては、各企業の研究開発テーマの管理の方法によって異なります。このため、本アンケートでは、プロジェクトや研究開発テーマの上位概念あるいは大分類・中分類的なものを「プログラム」とみなし、それについて伺います。

表. 研究開発テーマの例(中身は実際のものではない)

大分類	中分類	研究開発テーマ(プロジェクトを含む)
1. 新時代のエネルギーとCO <sub>2</sub> 削減への対応	新エネルギーの開発	・バイオマス発電の開発
		・燃料電池車の開発
		・水素生成技術の開発
	省エネルギーへの対応	・太陽光発電の高効率化
		・高効率ガスタービンの開発
	CO <sub>2</sub> 回収方法の研究	・CO <sub>2</sub> 有効利用のための改質方法の研究
・海水のCO <sub>2</sub> 吸収能力に関する研究		
2. 高齢化社会への対応	移動手段の利便性向上に向けた開発	・高機能車椅子の開発
		・自動車における高齢者向けの運転機能向上に向けた研究
	建物内での利便性向上に向けた開発	・自動調理器の開発
		・家庭用電気機器遠隔操作システムの開発
3. 環境保全への対応	大気汚染対策	・高性能NO <sub>x</sub> 処理装置の開発
		・自動車用高性能フィルターの開発
	土壌汚染対策	・バイオ処理に関する研究
		・効率的原位置浄化方法の開発

出典:小沼良直氏(本調査の検討委員)が作成

本アンケートでは、個々の研究開発テーマではなく、それらを大きくくりにした大分類・中分類をここでは「研究開発プログラム」と呼び、それについておたずねします。

大分類、中分類、研究開発テーマと分かれている場合は中分類、大分類と研究開発テーマと分かれている場合は大分類用に、個別研究開発テーマの1つ上のレベルについて回答して下さい。

「研究開発プログラム」は、研究開発部局の、研究グループや研究所など部署の構成に一致している場合もあれば、そうでない場合(部局横断的な編成)もあると思われま。

## 問1 研究開発プログラムと個別研究開発テーマの関係について

問1-1 研究開発プログラムと個別の研究開発テーマ(個別の研究開発課題)はどのような関係で設定されていますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 個別の研究開発テーマを目的別にくくって研究開発プログラムを設定し、全社の研究開発目標と結びつけていく(ボトムアップ) →問2 を回答して問4 へ
2. 事業戦略や研究開発戦略よりブレークダウンして研究開発プログラムを設定し、そこから個別の研究開発テーマが設定される(トップダウン) →問3 を回答して問4 へ
3. 上記ボトムアップとトップダウンの両方の場合がある →問2、問3 を回答して問4 へ

## 問2 ボトムアップの研究開発プログラムについて

問2-1 研究開発テーマからのボトムアップで研究開発プログラムを設定している場合についておたずねします。ボトムアップの研究開発テーマの場合、研究開発プログラムとの関係をどのように整理することが多いですか?該当するものを選んでください。

1. 研究開発テーマの目的・性格が近いもの同士で新たなプログラムを形成することが多い
2. 既に設定されている研究開発プログラムの中に入れることが多い
3. ボトムアップのテーマは研究開発プログラムに組み込まないことが多い

## 問3 トップダウンの研究開発プログラムについて

問3-1 研究開発プログラムからのトップダウンで研究開発テーマを設定している場合についておたずねします。トップダウンの研究開発プログラムと、研究開発テーマとの関係をどのように整理することが多いですか?該当するものを選んでください。

1. 研究開発プログラムごとに必要となる研究開発要素を体系的に洗い出し、テーマを設定することが多い(すなわち、研究開発テーマもトップダウン的に決まる)
2. 研究開発プログラムを設定しても、個々の研究開発テーマはその中でボトムアップ的に出てくる人が多い(プログラムの中で、研究開発テーマの自由度は高い)
3. 上記1. と2. がほぼ半々くらいである

## 問4 研究開発プログラムの規模・組織運営について

問4-1 1つの研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマはいくつ程度の場合が多いですか。

1. 1~5 研究開発テーマ
2. 6~10 研究開発テーマ
3. 11~20 研究開発テーマ
4. 21~30 研究開発テーマ
5. 31~40 研究開発テーマ
6. 41 研究開発テーマ以上

問4-2 研究開発プログラムはどのような組織単位に対応していますか。

1. 研究者が所属する研究グループ、それが属する研究所など部署の構成に対応している
2. 研究者が所属する部署の構成には対応しておらず、それらを超えた横断的なものになっている
3. 上記の両方がある

問4-3 (前問で 2.、3.と回答した場合) 研究開発プログラムについての管理者(リーダー)は設定されていますか。

1. 原則として設定されている
2. 原則として設定されていない
3. どちらの場合もある

問4-4 管理者(リーダー)の権限・役割はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマの設定・変更・中止
2. 研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマ間の予算配分
3. 研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマ間の研究者配置
4. 研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマの評価
5. 研究開発プログラムに含まれる研究開発テーマの進捗管理
6. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

## 問5 研究開発プログラムの評価全般について

問5-1 個別の研究開発テーマの評価と研究開発プログラムの評価の関係はどのようになっていますか。

1. 個別の研究開発テーマの評価のみを実施している →以降の設問は回答不要です
2. 研究開発プログラムの評価のみを実施している
3. 個別の研究開発テーマの評価を実施し、それをあわせたものが研究開発プログラムの評価となる
4. 個別の研究開発テーマの評価を実施し、それを参考にさらに違う視点からの評価も加えたものが研究開発プログラムの評価となる(以下に具体的に)

違う視点を具体的に



問5-2 研究開発プログラムの評価の周期はどのようになっていますか。該当するものを選んでください。

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年より短い(半年など)</li> <li>2. 毎年</li> <li>3. 2～3年おき</li> <li>4. 4～5年おき</li> <li>5. 6年以上おき</li> <li>6. 不定期</li> </ol> |
|---|

問5-3 研究開発プログラムレベルでの評価を何に活用していますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個々の研究開発テーマだけでは判断できない全体的な研究開発目標の達成状況の把握</li> <li>2. 研究開発プログラムレベルでの継続・中止の判断</li> <li>3. 研究開発プログラムに対する資源(資金・人員)配分</li> <li>4. 研究開発部門全体の業績評価</li> <li>5. 研究開発者個人に対する業績評価</li> <li>6. その他(以下に具体的に)</li> </ol> |
|--|

その他を具体的に

--

問5-4 研究開発プログラムの評価を実施する上での工夫があれば、ご記入ください。

--

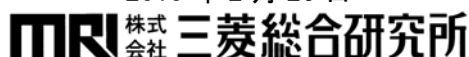
問5-5 研究開発プログラムの評価を実施する上での課題、問題点についてあてはまるかどうか、該当するものに○をつけて下さい。

	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまら ない
1. 研究開発テーマよりも大きくなりとなるため、評価することが難しい			
2. プログラムの実施の判断は政策的に決められるため、細かく評価しても意味はない			
3. 全体のプログラムに対する評価と個々のテーマに対する評価は必ずしも連動しない			
4. プログラムは長期的に評価されるべきものであり、短期評価にはなじまない			
5. そもそもプログラムに対しては、どのように評価していいか、わからない			

ご協力大変ありがとうございました。

# グローバル COE プログラム(各拠点)の研究課題の構成の考え方とその評価体系、評価手法に関するアンケート【C 大学対象】

2010年2月26日



## 《はじめに》

このたび、株式会社三菱総合研究所では、文部科学省の委託により、「グローバル COE プログラムの研究課題の構成の考え方とその評価体系、評価手法」に関するアンケートを行うことになりました。

このアンケートは、(A) 研究関連独立行政法人、(B) 民間企業、(C) 大学(グローバル COE)を対象にお送りしており、本アンケート票(C)は大学(拠点リーダー)にお送りしているものです。

近年、政府の研究開発については複数のプロジェクトをまとめて管理する「プログラム」化が進んでおり、その評価も行われているようになっていますが、評価体系・評価手法は十分確立されていないと考えられます。そこで、本調査分析では、グローバル COE における「研究面」のマネジメントの実態を把握し、政府の研究開発のための参考にしたいと考えております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 《アンケートの回答方法》

本アンケートは、郵送または電子メール返送のいずれかで回答してください。

いずれの方法も **3月10日(水)**までに回答ください。

### 【郵送によるご回答】

本調査票に直接記入の上、同封の返信用封筒にて返送ください。

### 【電子メールによるご回答】

本調査用ウェブサイト(<http://www.stu-mri.jp/rd4/>)から調査票ファイルをダウンロードして記入し、rd4@mri.co.jpまで返信ください。

### 【FAXによるご回答(締め切り直前の場合)】

締め切り直前の場合は、本調査票をFAXして頂いてもかまいません。

## 《回答頂いた情報の取り扱いについて》

ご回答頂いた内容につきましては、今回の調査目的に従って、統計的な分析を行うためのみに使用し、その他の目的で利用することはございません。分析でも組織・個人を特定して扱うことはございませんので、ご協力をお願い致します。なお、回答いただいた方には、まとめ次第、調査結果をフィードバックいたします。

## 《アンケートの目的や内容に関するお問い合わせ先》

株式会社三菱総合研究所 経営コンサルティング本部 担当：北田貴義、吉村哲哉

お問い合わせ用メールアドレス rd4@mri.co.jp

本調査用ウェブサイト(調査票ダウンロード、FAQなど) <http://www.stu-mri.jp/rd4/>

電話 (03)3277-0557

## ご記入された方の連絡先をご記入ください

### 【重要】

※ご役職、ご氏名、ご連絡先(電話)、ご連絡先(電子メール)につきましては、個人情報となりますので、次ページ「個人情報のお取り扱いについて」の説明文を読み、了解、承諾された上でご記入ください。アンケート内容の確認、結果のフィードバックのみに利用します。

### ＜ご記入欄＞

大学名			
プログラム名			
ご所属(部署)			
ご役職*		ご氏名*	
ご連絡先(電話)*		ご連絡先(電子メール)*	

## 個人情報のお取り扱いについて

本アンケートは、文部科学省より業務委託を受けて三菱総合研究所が実施するものでグローバルCOE 採択拠点から約 60 か所を抽出してお送りしています。

ご回答者の個人情報のお取り扱いについては、下記のとおり適切に管理いたしますので、ご同意の上、アンケートにご回答下さい。

1. 個人情報の取扱いに関する 弊社の基本姿勢	三菱総合研究所は、2003年1月8日にプライバシーマークの付与・認定を受けております。 ご回答者の個人情報は、弊社が定める「個人情報保護方針」に則り、適切な保護措置を講じ、厳重に管理いたします。
2. ご回答者の個人情報の利用 目的	ご回答者の個人情報は以下の目的のために利用させていただきます。下記以外の目的で個人情報を利用する場合は、改めて目的をお知らせし、同意を得るものといたします。 (1) アンケート内容の確認 (2) アンケート調査結果のフィードバック
3. ご回答者の個人情報の提供  提供：事業者が自ら保有する個人情報を自社以外の者が利用できるようにすることをいう。(委託を除く)	個人情報の提供の予定はありません。
4. ご回答者の個人情報の委託  委託：事業者が利用目的達成に必要な範囲内において、個人情報の取扱いの全部又は一部を自社以外の者に預けることをいう。	ご回答者の個人情報は、外部委託事業者に個人情報を取扱う業務を委託する予定があります。 その際、必要な契約を締結し、弊社の従業員に対するのと同等の管理を行います。
5. ご回答者の個人情報の利用 終了後の措置(個人情報の保管期間)	当該業務終了後は、三菱総合研究所が責任をもって廃棄いたします。
6. ご回答者が個人情報を弊社に与えることの任意性及び当該情報を与えなかった場合にご回答者に生じる結果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お名前・ご連絡先をご記入いただいた場合、後日、アンケート回答内容について、ご質問させていただくことがございます。</li> <li>・お名前・ご連絡先を記入いただいた方には、アンケートの集計結果についてお知らせする場合があります。</li> <li>・ご回答された方が、個人名の記載を希望されない場合には、個人名の部分につきまして空欄でも構いません。その場合、アンケートの集計結果についてお知らせすることはできません。</li> </ul>
7. 個人情報に関するご連絡先	(1) 個人情報保護管理者 株式会社三菱総合研究所 常務執行役員 渡井康之 (連絡先: 03-3270-9211、E-mail: privacy@mri.co.jp) (2) 苦情・相談窓口: 広報・IR部 広報室 電話: 03-3277-4515 FAX: 03-3277-3490 E-mail: prd@mri.co.jp URL: https://secure.mri.co.jp/MRI/kojin

◆ 弊社の「個人情報保護方針」「個人情報のお取り扱いについて」をご覧になりたい方は  
<http://www.mri.co.jp/TOP/privacy.html> をご覧下さい。  
 又、ご請求いただければお送り致します。

お問合せ番号: P020982-002-c

## 問1 グローバル COE プログラムの貴拠点の概要

貴拠点の概要についておたずねします。

問1-1 拠点に参加している研究者数(学生は除く)は何人ですか。

( )人

問1-2 拠点に含まれる研究課題はいくつ程度ですか。

1. 1～5 研究課題
2. 6～10 研究課題
3. 11～20 研究課題
4. 21～30 研究課題
5. 31～40 研究課題
6. 41 研究課題以上

問1-3 拠点には、どのような性格の研究課題が含まれていますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 基礎研究(純粋基礎研究):基本的な原理や性質を知るためのもの
2. 基礎研究(目的基礎研究):特定の実際目的のために行われるもの
3. 応用研究
4. 開発研究

問1-4 拠点はどのような組織単位に対応していますか。

1. 研究者が所属する研究所など部局の構成に対応している
2. 研究者が所属する部局の構成には対応しておらず、それらを超えた学内横断的なものになっている
3. 複数大学によるものとなっている

## 問2 貴拠点における拠点化の方法定

問2-1 拠点を企画し構築する際に、拠点全体としての目的や内容構成と、個別の研究課題とは当初どのような関係で設定されましたか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

1. 個別の研究課題を目的別にくくって拠点全体の研究課題を設定した(ボトムアップ)
2. 拠点全体の研究課題を設定し、そこから個別の研究課題を設定した(トップダウン)
3. 上記ボトムアップとトップダウンの両方

問2-2 拠点を構築するのに、どのようなプロセスを経られましたか。特に、学内での構築支援方策や体制、外部からの情報入手得体制などがありましたら、ご記入ください。(自由記述)

問3 グローバル COE プログラムの拠点におけるマネジメント

問3-1 拠点リーダーの権限・役割はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 国際的な拠点形成に関する責任者
2. 博士課程学生教育に関する責任者
3. 拠点に含まれる研究課題の設定・変更・中止
4. 拠点に含まれる研究課題間の予算配分
5. 拠点に含まれる研究課題間の研究者配置
6. 拠点に含まれる研究課題の評価
7. 拠点に含まれる研究課題の進捗管理
8. その他(以下に具体的に)

その他を具体的に

問3-2 貴拠点では、単なる個別の研究課題の集合ではなく、拠点全体としての目的(拠点全体としての研究課題への取り組み、国際的な拠点形成、博士課程学生教育など)を達成するために、どのような工夫をしていますか。具体的に、どのようなことを行っていますか。

例) 研究課題群が全体として、目的に合った形で進んでいるかチェック、研究課題群全体として、抜け漏れや、不必要な重複がないかのチェック、研究課題間での相互連携の促進 など

問3-3 個別の研究課題と拠点全体の目標とを関連づけるためにどのような課題、問題点がありますか。

例) 個別研究課題との関連づけが難しい、等

問3-4 今後、各拠点でのマネジメントをより効果的に進めるには、各拠点レベルでどのような工夫が必要とお考えになりますか。貴拠点で取り組んでいるかどうかに関わらず、拠点リーダーとしてのご意見をご回答ください。

#### 問4 グローバル COE プログラムの拠点の評価

グローバル COE プログラムの拠点での評価についておたずねします。

ここで「評価」とは、グローバル COE プログラム委員会によって行われる評価ではなく、拠点として自らの判断で行っている内部評価(自己評価)、外部評価についておたずねします(ここには評価に準ずるようなアドバイザーボード設置なども含みます)。

問4-1 個別の研究課題の評価を拠点において行なっていますか(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

1. 外部パネル評価
2. 学内の拠点メンバー以外の者による評価
3. 拠点リーダー及び拠点内のメンバーにおける制度的に整えられた評価
4. 拠点リーダー及び拠点内のメンバーにおけるインフォーマルな評価
5. 評価は行なっていない

問4-2 拠点全体としての評価はどのように行なっていますか(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

1. 外部パネル評価
2. 学内の拠点メンバー以外に者による評価
3. 拠点リーダー及び拠点内のメンバーにおける制度的に整えられた評価
4. 拠点リーダー及び拠点内のメンバーにおけるインフォーマルな評価
5. 評価は行なっていない →アンケートは終了です

問4-3 個別の研究課題の評価と拠点全体としての評価の関係はどのようになっていますか。(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

1. 個別の研究課題の評価を実施し、それをあわせたものが拠点全体としての評価となる
2. 個別の研究課題の評価を実施し、それを参考にさらに違う視点からの評価も加えたものが拠点全体としての評価となる
3. 拠点全体の評価は個別の研究課題の評価とはあまり関係なく行っている(個別の研究課題の評価は行っていない場合を含む)

問4-4 単に「個別の研究課題の評価の積み上げ」ではない形で、拠点(研究面)についての評価を行っている場合、それは、どのような面についてでしょうか。(該当する項目にいくつでも○印)

1. 拠点として「ビジョン」があること、及びビジョンの内容についての評価
2. 拠点としての教育・研究面での社会的インパクトがあるか、対外的にリーダーとして認知されているかどうかについての評価
3. 拠点としての研究計画の戦略性についての評価
4. 研究課題の相互の関連の状況、各研究課題への資金配分の適切さ等についての評価
5. 拠点リーダーがリーダーシップを発揮しているかについての評価
6. その他 (具体的に)

その他の場合、具体的に記載してください。

--

問4-5 個別研究課題の全体としての評価の周期はどのようになっていますか。(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

複数の形式の評価を行っている場合は、もっとも頻繁に行われているものについて回答して下さい。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 1年より短い(半年など)</li><li>2. 毎年</li><li>3. 2～3年おき</li><li>4. 4～5年おき</li><li>5. 6年以上おき</li><li>6. 不定期</li></ol> |
|--|

問4-6 拠点全体としての評価を実施する理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 個々の研究課題の評価だけでは判断できない全体的な研究開発目標の達成状況を評価できる</li><li>2. 個々の研究課題の評価は細かすぎて事務的に煩雑である</li><li>3. その他(以下に具体的に)</li></ol> |
|---|

具体的に

--

問4-7 拠点全体としての評価を実施する上での工夫があれば、ご記入ください。(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください)

--

問4-8 拠点全体としての評価を実施する上での課題、問題点があれば、ご記入ください。(貴拠点において自らの判断で行っているものに限ってご回答ください) 例)負担に見合った成果が得られない、等

--

ご協力大変ありがとうございました。